



### 人間の感覚

特活課 茂松克明

現在では色々なものが機械化によって大量に安く生産されていますが、一つの物を突き詰めて作り上げるということに関してはまだまだ人間の感覚に及ばないものもあるようです。

かつて日本に世界一の砲丸職人と言われた人がいました。陸上競技の砲丸投げで使う砲丸のことです。砲丸は真球に近く重心が中心にあるほど飛距離が出るそうです。材料には重さや重心のばらつきがあるため、通常の砲丸は後から穴を開け、鉛を詰めるなどして重さを調整していました。しかし、その人は重い硬い部分は多めに削り、軽い柔らかい部分は浅く削ることで重心の位置を真ん中に合わせることに成功しました。手のひらに伝わる感触、そして音と光（色）を頼りに1/100ミリの世界で調整するのです。その砲丸は、重心が安定しているため水平なところに置くと転がらないのだそうです。



現在では色々なものが機械化によって大量に安く生産されていますが、一つの物を突き詰めて作り上げるということに関してはまだまだ人間の感覚に及ばないものもあるようです。ある墨の職人に密着したTV番組で、その職人は「芸術家になるには才能が必要ですが、職人には誰でもなれます。ただし、長い年月が必要です。」ということをお話していました。近年「時間対効果」について見聞きすることがありますが、短い時間で高い効果を求めすぎると絶対に手に入らないものもあるのではないかと思います。

私は学生時代からテニスをしていたので関連する本を読むことがありましたが、その中でテニスラケットの角度とボールの飛距離の関係を測定した実験（機械でまっすぐにボールにあてる）がありました。その実験では、ラケットの角度が1°上を向くと落下地点が4m違ったそうです。しかし、テニスのトッププロであれば少なくとも数10cmの単位で調整ができると思います。実際にはラケットの角度だけではなく、スイングスピードや回転数の増減など様々な要素がありますが、感覚によって調整することができます。テニスに限らず、様々なスポーツ選手が我々には考えられないような技術を見せてくれます。当然その人たちがたくさんの練習を積んできた上で身に付いた感覚や技術だと思っています。

様々な職人やスポーツ選手は時間をかけて感覚を磨いてきたのだと思います。その長い修練や研究によって、一人の人間が高価な機械やセンサーに負けない感覚を持っているのだと思うと人間とはすごいものだと思うのです。簡単なことではないですが、時間をかけて何かに真剣に取り組んでいくことで「すごい何か」が身に付くかもしれません。そしてやっぱり、若い人のほうが時間があります。

## 【11月行事予定】

日	曜	行	事
1	金	小松高祭	
2	土	進研模試・進路マップ(1・2年)・進研マーク模試(3年)	
3	日	文化の日	↓
4	月	振替休日	
5	火	相互参観授業(～11/11の5日間)	公開授業(～7日)
6	水		
7	木	コース選択説明会(体育館:1年普⑦限) 校内金引落	
8	金	学校集会(図書研修課) ビブリオバトル⑥限	
9	土	被服製作技術検定1級(和服)(3-4) 竹林整備の下草刈り(9:00～) バスケットボール1・2年生東予地区予選会場	
10	日	第43回竹林整備活動 第149回ビジネス計算実務検定試験	
11	月	コート販売	
12	火		
13	水	ウォークラリー大会(雨天時は20日(水)の授業) 第2回運転免許取得説明会	
14	木	校内漢字テスト⑨	高文祭(～11/17)
15	金	全校集会(研修図書課) 人権・同和教育ホームルーム活動公開授業	
16	土	地域の魅力発信 学校開校日⑧9:30～12:00バスケットボール1・2年生東予地区予選会場	
17	日		
18	月	コート販売	総合健診日②(小松保健センター)
19	火		
20	水	各種委員会 ウォークラリー大会予備日	
21	木		
22	金	※人権・同和教育ホームルーム活動	
23	土	勤労感謝の日	
24	日	第73回ビジネス文書実務検定試験	
25	月	期末考査発表	
26	火		
27	水		
28	木		
29	金		
30	土		

## 【今月の名言】相田みつをの言葉

あとじゃできねんだよなあ      いまのことは      いましかできぬ